

平成26年 2月17日

(宛先) 松阪市長

Matsusaka-EMS  
外部環境監査チーム

外部環境監査員 (氏名省略)

## 外部環境監査報告書

Matsusaka-EMS 外部環境監査の結果について、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の日程

平成 26 年 2 月 6 日 (木) 9 時 00 分 ~ 17 時 00 分

平成 26 年 2 月 7 日 (金) 9 時 00 分 ~ 16 時 30 分

### 2. 監査の対象

教育委員会文化課、清掃事業課第二清掃工場、清掃政策課、商工政策課、三雲地域振興局地域整備課、三雲地域振興局三雲教育事務所、農村整備課、環境管理事務局（環境管理責任者インタビュー） 計8部署

### 3. 監査の内容

#### ① 監査の対象期間

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 9 月 30 日まで

#### ② 監査実施内容

- ・システムに規定された事項が適切に実施されかつ有効に機能しているか
- ・システムの運用結果として、環境方針に沿った環境負荷低減等の取り組みが進んでいるか。
- ・システムに改善の必要性はあるか。

#### ③ 監査方法

文書類・記録の確認・目標に対する取り組み状況ヒアリング及び被監査部署の職場等における現場確認

## 4. 監査結果

### (1) 監査の概要

2 項の部門監査と環境管理責任者及び環境管理事務局のインタビューを実施した結果、特に問題となる事項及び指摘事項は、ありませんでした。各部門ともエコフィス活動を中心に木目細かい管理を実施されていました。

### (2) 監査の所見

#### ① 重点事業目標について

文化課、清掃政策課、商工政策課において確認できましたが、いずれの部署も積極的に取り組まれていました。

#### ② 個別目標について

啓蒙意識も高く、高い達成度での取り組み状況でありました。今後も現状のレベルが維持できる様に取り組んでいただきたい。特に第二清掃工場での雨水利用は、非常に費用対効果の高い取り組みと感じました。

#### ③ エコフィスシートについて

全ての部署において良好な運用となっており啓蒙意識の高さを感じました。ただし一部の部署にアンケート評価の考え方が適切に伝わっていない部分がありましたので、内部コミュニケーションの充実を図ってもらいたいと感じました。

#### ④ 緊急事態への対応について

適切に実施されていましたが、今後は潜在的な緊急事態及び事故の想定とその対応手順を明確にし、また対応手順を定期的にテストし、レビューすることにより適切に確立していただきたい。そして手順どおりできるように定期的に訓練をお願いしたいと思います。また、緊急事態の事象が地下水や土壌だけでなく大気も含めた環境全般に対しての緊急事態を特定出来るようにマニュアルの表現方法の検討もお願いします。

以上の所見より Mastusaka-EMS の運用は適切に行われているものと確認いたしました。

### (3) 今後についての気付き

従来から推進されているエコフィス等の個別活動は、既に確立、定着されていますので維持管理活動とされ、今後は業務に直結した改善活動を個別目標とされ推進されることを望みます。

以上